奈良県教員等の資質向上に関する指標

奈良県目指す教育	基本理念	**本人のための教育** **ー人ひとりの「学ぶ力」「生きる力」をはぐくむ**	奈良県教育振興大綱
	施策体系のテーマ	こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ 学ぶ力、考える力、探求する力をはぐくむ 働く意欲と働く力をはぐくむ 地域と協働して活躍する人を育てる 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	奈良の学び推進プラン

教員志望の高校生段階

コミュニケーション力【多様性理解（人間関係能力）】人とつながる
～関わる～

情熱・人間性【自尊感情（自己理解能力）】自分とつながる
～見つめる～

教育観【学ぶ楽しさを教える楽しさへ（専門的知識）】学びとつながる
～知る～

教員養成段階	スタート時		
	教育に対する情熱をもち、常に児童生徒から学び、共に成長しようとしている 常識や礼儀作法を身に付け、高い規範意識をもち、自己の人間性を高めようとしている		
	学習指導要領に基づいて授業を計画・実施するとともに、自己評価を改善につなげることができる 学習指導の基本的事項、授業を行う上での基本的な指導技術をもち、それらを活用して授業ができる 学習指導においてＩＣＴを活用した授業ができる 奈良県教育振興大綱、奈良県学校教育の指導方針、奈良県の教育課題等を理解している 学習指導要領、基本的な法規を理解している 学習指導の基本的事項（教科等の知識や技能等）を身に付けている 授業を行う上での基本的な指導技術（発問、板書、ノート指導等）を身に付けている	基礎的な知識と技能を基に生徒指導に取り組むことができる 生徒指導の意義や命を守る指導の重要性を理解し、児童生徒一人一人と向き合うことができる 児童生徒に対して公平かつ共感的な態度で接することができる 周囲の状況を判断して、自ら児童生徒に声をかけることの重要性を理解している 児童生徒の発達や心身の状況に応じて、抱える課題を理解している	基礎的な知識と技能を基に学級経営ができる 組織の一員として果たすべき役割を自覚し、協働して様々な事案に対応することができる 規律ある学級経営を行うための基礎的事項を理解している 組織の一員としての自覚をもち、職務を協働して遂行することの重要性を理解している

分野	項目	基礎形成期	基礎定着期	伸長期	充実期
教員等としての素養	人間力	豊かな人間性や社会性、教養等を有し、良好な人間関係を構築する力を備えている 状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝える優れたコミュニケーション能力を備えている 法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観や豊かな人権感覚を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている			
	情熱	愛情をもって児童生徒との信頼関係を築いている 教員等としての仕事に対する使命感や誇りをもち、責任感をもって職務に当たっている 児童生徒の学ぶ意欲や自己肯定感等を高めるため、教員等として常に学び続ける向上心を有している			
授業力	構想	・目標と指導と評価が整合した授業の計画を立案できる ・児童生徒の興味・関心や知識・技能の実態を把握できる	・目標と指導と評価が整合した授業及び年間の計画を立案できる ・児童生徒の学習に対するつまずきや課題に応じて、指導方法に工夫を取り入れることができる	・目標と指導と評価が一体化した授業及び年間の計画を立案できる ・学習意欲の向上を図る観点から、教材開発や指導方法に工夫を取り入れることができ、他の教員の授業構想等に対して助言ができる	・自校の教育課題への対応や教科等の系統性、地域・郷土学習の視点等をもち、教科等横断的な授業及び年間の計画を立案できる ・自校の教育目標達成の観点から、多様な工夫を取り入れた計画を立案し、他の教員の授業構想等に対して指導・助言ができる
	実践	・主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業実践を目指すとともに、児童生徒に基礎的な知識・技能が定着する授業を実践できる ・児童生徒に授業のねらいを示すことや振り返りを行うことが確実にでき、できたことに対しては、褒めて認める声掛けができる	・主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業実践に努めるとともに、児童生徒に基礎的な知識・技能を活用する力を培う授業を実践できる ・児童生徒に学ぶ意欲をもたせ、できないことをできるようにするための発問・指示、声掛け等ができる	・主体的・対話的で深い学びを実現するために、言語活動を充実させる等の具体的な視点をもって授業実践を行うとともに、個に応じた指導等により、児童生徒に確かな学力を培う授業を実践できる ・児童生徒の反応や理解度から受容や肯定、発問・指示等を臨機応変に行うことができ、他の教員の授業実践に対して助言ができる	・主体的・対話的で深い学びを実現するために、多様で具体的な視点をもって授業実践を率先して行うとともに、児童生徒の学びを人生や社会に生かすことができる授業を実践できる ・専門的な知識・技能に基づいた授業モデルを示しつつ、他の教員の授業実践に対して指導・助言ができる
	評価・改善	・目標に照らし合わせて自己の授業を評価し、指導技術等の改善に取り組むことができる ・他の教員からの助言・支援を授業改善に生かすことができる	・児童生徒の反応や理解度等の学習状況から自己の授業を評価し、課題を明確にした上で、授業改善に取り組むことができる ・他の教員と互いの授業について協議し、授業改善に生かすことができる	・児童生徒の学習意欲や目標達成度から適切に自己の授業を評価し、課題に対する解決方法を明確にして授業改善に取り組むことができる ・他の教員の授業に対して、具体的な授業改善案を示しつつ、助言ができる	・自校の教育課題への対応や研究主題の達成の視点から自己の授業を適切に評価し、率先して授業改善に取り組むことができる ・学年や教科等、学校全体に係る授業改善をリードしつつ、他の教員の授業改善に対して指導・助言ができる
	研究	・自校での研究授業等に積極的に取り組むことができる ・研究授業等の成果を自らの授業実践の在り方に生かすことができる	・学習指導案の検討や教材開発、実践の記録等、自校での授業研究に積極的に取り組むことができる ・自己の課題を把握し、専門性を身に付けるため、校外での研究等に取り組むことができる	・自校の研究推進に主体的に参画するとともに、他の教員の授業研究に対して助言ができる ・今日的な課題の解決や、自らの専門性を高めるための研究に取り組むことができる	・自校の教育目標達成のため、研究主題の設定を行うなど、研究推進の役割を担うとともに、他の教員の授業研究に対して指導・助言ができる ・今日的な教育の動向を把握し、必要となる専門性を更に追究するための研究に取り組むことができる
	情報活用	・児童生徒の学力や情報活用能力を形成するために、授業のねらいを明確にして、効果的にICTを活用した授業を行うことができる		・教育の情報化を推進するために、情報活用能力の育成計画の立案、効果的なICTの活用方法の開発等、多様な側面から自校の中心となって取り組むとともに、他の教員に指導・助言ができる	
生徒指導力	実態把握	・授業時間や休憩時間等のあらゆる場面において、児童生徒一人一人と積極的に向き合うことができる ・児童生徒の言動や心の動きからその児童生徒の置かれている現状の理解ができる	・日々の観察を基に、児童生徒の行動の変化を細部まで見逃さず捉えることができる ・児童生徒一人一人の生活背景を踏まえた実態の把握ができる	・児童生徒一人一人の変化を的確に捉え、直ちにその変化の要因を確認できる ・教職員の中心となって、児童生徒の情報を収集し、それを他の教職員と共有できる	・事象の要因を確認する際の対応及びその情報の取扱いが適切にできる ・具体的指導例を伴って、他の教職員に対応方法等の指導・助言ができる
	指導	・問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に対して、他の教職員からの助言・支援を得ながら事象への対応ができる ・児童生徒のよさを褒めて認めることで、自己肯定感を高めながら寄り添う指導ができる	・問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に対して、教育相談等を活用しながら事象への多様な対応ができる ・児童生徒を肯定的に捉えることで、保護者に安心感を与えつつ、指導を進めることができる	問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に対して、自校の生徒指導の方針に基づき、教職員の中心となって組織的に事象への対応ができる ・具体的な生徒指導の方法を示すとともに、他の教職員に助言ができる	・自校の生徒指導の方針に基づいた体制づくりに率先して取り組むことができる ・学校全体に係る生徒指導をリードするとともに、他の教職員の指導方法について指導・助言ができる
	特別な支援を必要とする児童生徒への指導・支援	・家庭環境を踏まえて、児童生徒の困り感やつまずき等の実態の把握ができる ・他の教職員からの助言・支援を得て、個別の教育支援計画及び指導計画を作成し、指導・支援ができる	・児童生徒の実態から一人一人の教育的ニーズに対応した個別の教育支援計画及び指導計画の作成ができる ・個別の教育支援計画及び指導計画に基づいた適切な指導・支援ができる	・教員の中心となって自校における個別の教育支援計画及び指導計画の作成と活用を推進できる ・専門的な視点に基づいた指導や支援のモデルを示すとともに、他の教職員に助言ができる	・特別支援教育に関する校内組織において、自校の組織的な取組の推進ができる ・学校全体に係る特別支援教育をリードするとともに、他の教職員の取組について指導・助言ができる
	関係機関等との連携	・必要に応じて、教育相談等の必要性を判断したり、SC・SSWや関係機関等との円滑な連携を図ったりするために、児童生徒の実態等の現状について、他の教職員に確実に報告・連絡・相談ができる		・自校の中心となって、教育相談等の必要性を判断し、SC・SSWや関係機関等との効果的な連携・協力を推進するとともに、他の教職員に対してその活用について指導・助言ができる	
マネジメント力	組織マネジメント（学級経営・学校運営） カリキュラム・マネジメント	・児童生徒一人一人を生かす学級づくりができる ・所属する学年、分掌等の一員として果たすべき役割を十分理解して職務を遂行できる	・学校経営計画や学年の指導計画の下、状況に応じた学級経営ができる ・他の教職員と協働し、学年・分掌経営等ができる	・自校の教育目標に基づき、学年や分掌の具体目標と行動計画の設定及び見直しができる ・教職員の中心となって学年・分掌経営等に取り組むとともに、他の教職員に助言ができる ・業務の見直しについて、他の教職員に助言ができる	・自校の教育目標の実現に向け、教育課程を点検することを通して、学校改善の推進ができる ・教職員間の連携や業務の見直しを推進し、状況に応じて教職員が能力を発揮できる体制づくりができる
	危機管理	・学校安全に関する基礎的な知識を有し、事象発生時には正しい手順で対応できる ・未然防止のための身の回りの安全点検が確実にできる	・危機管理の重要性や自身の役割を十分理解し、事象発生時には適切に対応できる ・安心・安全な学校づくりに他の教職員と協働して取り組むことができる	・教職員の中心となって危機の未然防止に率先して取り組むことができる ・自校の危機管理の具体的な方法について、他の教職員に助言ができる	・自校の危機管理体制を常に点検することができる ・危機管理に関する課題解決に向けた提案、改善など具体的な方法を他の教職員に指導・助言ができる
	家庭・地域等との連携・協働	・家庭に対して、学級の経営方針等を説明し、理解と協力を得ることができる ・家庭の協力のもと教育活動を効果的に進めることができる	・家庭や地域・関係機関等に対して、自校の指導方針等を伝えつつ、それぞれの理解と協力を得ることができる ・家庭や地域・関係機関等と良好な関係を築き、連携・協働した教育活動を推進することができる	・教職員の中心となって家庭や地域・関係機関等と連携・協働した教育活動の計画・推進ができる ・家庭や地域・関係機関等と連携・協働し、自校の課題を解決するための手法を他の教職員に助言ができる	・自校の課題解決に向け、学校内外における様々な人々と広く連携・協働を図るための組織づくりができる ・家庭や地域・関係機関等との連携・協働を推進するための具体的な方法について、他の教職員に指導・助言ができる
	人材育成 職能成長	・組織の一員として、他の教職員と円滑に協働できる関係を築くことができる	・他の教職員と互いに学び合い、高め合う関係を築き、資質向上のために協働して取り組むことができる	・教職員間での相互理解に主体的に取り組み、支援者として他の教職員の資質向上に係る助言ができる	・人材育成やOJTに関する自校の課題解決に向けた取組を中心となって推進するとともに、支援者として他の教職員の資質向上に係る指導・助言ができる
		・勤務時間を意識しながら業務を効率的に遂行し、健全なワークライフバランスを保つことができる		・自らが率先してワークライフバランスを推進するとともに、他の教職員にも助言ができる	